

平成27年度 三田松聖高等学校・学校評価シート

|   |      |   |
|---|------|---|
| <p>学校教育目標</p> <p>&lt;基本方針&gt;</p> <p>校訓「不撓不屈、和敬協調、自律自学」の信念のもと心身を錬磨し、優れた英知と豊かな情操を備えた、清く正しく強い、社会貢献のできる青少年を育成する。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 知・徳・体の調和のとれた人格形成と育成を図り、生徒が生き生き伸び伸びと活動する活発な学校づくりを推進する。</li> <li>2. 個に応じた教育活動を展開し、基礎・資本を確実に定着させ、生徒自ら主体的に判断し、行動できる資質や能力の向上を推進する。</li> <li>3. 家庭や地域との密接な連携を図ることにより、社会から信頼される学校、魅力ある学校づくりを推進する。</li> </ol> | 重点目標 | <p>&lt;学校経営の重点&gt;</p> <p>「教育は人なり」である。生徒に「生きる力と学ぶ力」を身につけさせるため、熱意ある教育実践と真摯なる研修を積み重ねる教師集団づくりを図り、生徒との信頼関係を構築し、学校のさらなる発展を目指す。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 生徒の多様な進路目標に応えるため、それぞれのコースの特徴をより伸張すると共に、組織的な教育計画を展開し、特色ある教育活動を推進する。</li> <li>2. 生涯にわたり、自らの目標に向かって主体的に学び続ける力をつけるために、教科指導はもとより学年・学級経営を充実し、生徒一人一人の能力と個性を伸ばす教育を推進する。</li> <li>3. 部活動や体験活動を通して、ふれあいを大切にし、互いを思いやり、自他の生命や人権を大切にする心の教育を充実させ、生徒の豊かな人間性や社会性を育む教育を推進する。</li> <li>4. 生徒の学びを支えるため、教員一人一人が教育者としての使命を認識し、専門家としての自覚を高め、日々の研究や研修を通して、幅広い視野と専門的な知識や指導力の向上に取り組む。</li> </ol> |
|---|------|---|

達成度(5段階) < 5:よくできた ←—————> 1:できなかった >

| 学校自己評価 |                                   |   |                        |                      |     | 学校関係者評価   |  |     |   |  |     |  |  |     |   |
|--------|-----------------------------------|---|------------------------|----------------------|-----|---|--|-----|---|--|-----|--|--|-----|---|
| 領域     | 評価の観点                             | 評価項目  | No.                    | 評価項目の達成状況            | 達成度 | 次年度への課題と改善策   |  |     |   |  |     |  |  |     |   |
| 教育課程   | 学習指導                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・教科の基礎基本学習を徹底</li> <li>・自ら学ぶ主体的な学習指導</li> <li>・生徒の学習意欲を高める指導</li> <li>・進路達成に向けて応用力をつける指導</li> <li>・個に応じた丁寧な指導</li> </ul> | 1                      | 教科によっては徹底できた         | 3.5 | 小テスト、プリント学習などで基礎力の徹底を図る<br>校外研修で研修を積み指導力の向上を図る<br>学習パターン、家庭学習の指導の徹底<br>生活に直結する実践力を身につける指導の徹底<br>学ぶ意識を実感できるより良い教材選択をする | <ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎学力の向上を図り、大学進学後も頑張る生徒を育てて欲しい</li> <li>・教えるプロとして、生徒に尊敬される教師であって欲しい</li> <li>・勉強する理由を指導して欲しい</li> </ul> |     |   |  |     |  |  |     |   |
|        | 生徒指導                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒指導体制の充実</li> <li>・規律ある学校生活の確立</li> <li>・規範意識の向上</li> <li>・挨拶やマナーの向上</li> <li>・生徒との信頼関係の構築</li> </ul>                  | 6                      | 学年・部の連携は取れていた        |     |   |  | 3.2 | HR・学年での連携と情報の共有<br>登下校におけるマナー指導の徹底<br>校則と社会ルールの関連性を説く<br>関係機関との連携強化を図る<br>日々の変化を掴む為細かく生徒一人ひとり見る | <ul style="list-style-type: none"> <li>・校外での挨拶が以前と比べ減少したとの話を聞く、積極的な指導を続けて欲しい</li> <li>・全体として生徒の気質が年々向上している</li> <li>・指導の継続性と、教師と生徒の距離感を大切にしたい</li> </ul> |     |  |  |     |   |
|        | 進路指導                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・進路指導体制の充実</li> <li>・キャリア教育の推進</li> <li>・進路意識の向上</li> <li>・主体的な進路選択能力の育成</li> </ul>                                      | 11                     | 毎年見直し、進路・教務部との連携を取った |     |   |  |     |   |  | 3.5 | アドバンス講座、特別講座のさらなる充実<br>サテライン、受験サプリの徹底活用指導<br>最新情報の取得と伝達<br>高大接続の強化 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・理系大学への進学に頑張ってもらいたい</li> <li>・大学進学をした卒業生にアンケート調査を行い、その結果を現役生徒の指導に活かして欲しい</li> </ul> |     |   |
|        | 特別活動                              | <ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒会活動の活性化</li> <li>・部活動を通じた心の育成</li> <li>・ホームルーム活動を通じての心の育成</li> <li>・地域に奉仕する心の育成</li> </ul>                            | 15                     | 松聖祭以降の活動が不十分であった     |     |   |  |     |   |  |     |  |  | 3.7 | 生徒会選挙の在り方<br>人間教育を基本に、より良い部活動を目指す<br>行動のヒントを与え、企画運営させたい<br>校外清掃、地域イベントに参加する |
| 学校運営   | 学年経営<br>学級経営<br>所属部の役割            | <ul style="list-style-type: none"> <li>・学年経営体制の充実</li> <li>・学年経営計画の充実</li> <li>・学級経営体制の充実</li> <li>・学級経営計画の充実</li> <li>・自己の役割と実践的指導力の向上</li> </ul>              | 19                     | 主任・副主任を中心に経営できた      |     |   | 3.3  |     |   |  |     |  |  |     |   |
|        | 校務分掌<br>学校教育目標の達成<br>保護者や地域社会との連携 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・機能的な組織編成の充実</li> <li>・諸課題について研修の充実</li> <li>・家庭や地域と連携した教育体制の充実</li> <li>・保護者アンケートの有効活用</li> </ul>                       | 24                     | 諸問題に速やかに取り組めた        | 3.2 | 前例にとられない改革、組織編成を進める<br>課題ごとのプロジェクト班による検討答申<br>保護者・地域への情報発信と参加<br>分析と検討事項の具現化  |  |     |   | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域に密着し、松聖が中心となった交流をどんどんもって欲しい</li> <li>・共学後12年、良い方向に向かっているのだから更に頑張ってもらいたい</li> </ul>                             |     |  |  |     |   |
|        |                                   |   | 20                     | 修学旅行は計画通りに実施できた      |     |   |  |     |   |  |     |  |  |     |   |
|        |                                   | 21  | 学年付きの先生と協力しうまく経営できた    |                      |     |   |  |     |   |  |     |  |  |     |   |
|        |                                   | 22  | 報告・連絡・相談を徹底したクラスは好回転した |                      |     |   |  |     |   |  |     |  |  |     |   |
|        |                                   | 23  | 学年会の討議により検証した          |                      |     |   |  |     |   |  |     |  |  |     |   |
|        |                                   |   | 24                     | 諸問題に速やかに取り組めた        |     |   |  |     |   |  |     |  |  |     |   |
|        |                                   |   | 25                     | 進路・生徒指導等の研修会を実施した    |     |   |  |     |   |  |     |  |  |     |   |
|        |                                   |   | 26                     | 地域部会やイベントに参加し考え方を学んだ |     |   |  |     |   |  |     |  |  |     |   |
|        |                                   |   | 27                     | 授業アンケート、入学アンケートの実施   |     |   |  |     |   |  |     |  |  |     |   |